

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	興陽高等学校		所在地	岡山市南区藤田1500	
敷地面積	327, 040. 00 m ²		棟数	94 棟 (計画記載対象 22 棟)	
延床面積	22, 513. 40 m ²			※対象は200㎡以上の建物(車庫、倉庫等)は500㎡以上) ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	高等学校教育のため				
【想定される自然災害】					
予想震度 6強		津波 1. 0m～2. 0m未満		浸水 1. 0m～2. 0m未満	
建築規制	市街化調整区域 建ぺい率60%、容積率200%				
エネルギー使用量 (2017 年度)	電気 462,651 kwh	ガス 836 m ³	水道 7,264 m ³	燃料 (灯油・A重油) 19,487 0	灯油:10,787 A重油:8,700
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 23,810.06㎡ 敷地内貸付地 なし 岡山市避難所(土砂災害)協定による避難場所				

1 施設内建物の概況

名 称	特別教室家庭保育実習室棟(175-2棟)91-1.2	生徒研修施設棟(187棟)98	特別教室 園芸実習室棟(189棟)100
築年(西暦)	1986 年	1987 年	1990 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄骨 造 1 階	鉄骨 造 1 階
建築面積	477.39 m ²	252.72 m ²	360.00 m ²
延床面積	1,432.17 m ²	252.72 m ²	396.72 m ²
主要な用途 (室名等)	被服実習室 デザイン実習室 第1コンピューター室	研修室	園芸実習室
主要な設備 (屋外を含む)	-	-	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5		
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	外壁	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	体育館(190棟)101	農業機械実習室棟(193棟)103	記念館棟(195棟)105
築年(西暦)	1991 年	1993 年	1997 年
構 造	鉄骨 造 1 階	鉄骨 造 1 階	鉄骨 造 1 階
建築面積	1,493.17 m ²	384.20 m ²	250.00 m ²
延床面積	1,678.12 m ²	384.20 m ²	250.00 m ²
主要な用途 (室名等)	体育館	機械工作実習室 単気筒実習室	多目的室
主要な設備 (屋外を含む)	-	-	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	農業実習棟(196棟)106	造園実習室棟(200棟)109	計画造園実習室棟(201棟)110
築年(西暦)	1998 年	2002 年	2005 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 2 階	鉄骨 造 1 階	鉄骨 造 1 階
建築面積	664.56 m ²	280.00 m ²	275.00 m ²
延床面積	1,052.22 m ²	280.00 m ²	275.00 m ²
主要な用途 (室名等)	機械工作実習室 農業管理実習室 造形実習室	造園実習室	計画造園実習室
主要な設備 (屋外を含む)	-	-	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	本館棟(202棟)111-1	実習室棟(204棟)111-2	教室棟(52棟)25-1
築年(西暦)	1976 年	1978 年	1965 年
構 造	鉄骨 造 1 階	鉄骨 造 1 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	487.42 m ²	204.85 m ²	268.38 m ²
延床面積	487.42 m ²	204.85 m ²	805.14 m ²
主要な用途 (室名等)	第1実習室 講義室 職員室	第2実習室	調理実習室 クラスルーム
主要な設備 (屋外を含む)	-	-	空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		不適
	中性化 ※3		適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	教室棟(52-3棟)25-2,3	農業機械実習室, 農業実習室棟(56棟)24-3	機械実習室棟(116棟)62-1
築年(西暦)	1966 年	1966 年	1972 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄骨 造 1 階	鉄骨 造 1 階
建築面積	251.67 m ²	327.29 m ²	400.55 m ²
延床面積	755.02 m ²	327.29 m ²	400.55 m ²
主要な用途 (室名等)	クラスルーム	農業機械実習室	農業機械実習室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備 消火設備	-	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	適		
長期使用の 適否	適	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	被服科実習室棟(121棟)65-1,2	管理棟(123-2棟)70-1,2	格技場(130棟)76
築年(西暦)	1974 年	1975 年	1976 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄骨 造 1 階
建築面積	724.14 m ²	654.23 m ²	378.45 m ²
延床面積	2,183.97 m ²	1,859.80 m ²	425.43 m ²
主要な用途 (室名等)	調理実習室 被服整理実習室 クラスルーム	校長室 事務室 会議室	武道場
主要な設備 (屋外を含む)	給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備 消火設備	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	
	中性化 ※3	不適	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	農業科実習室棟(137-2棟)87-1,2	鶏舎(161棟)61	特別教室棟(172棟)89
築年(西暦)	1981 年	1970 年	1984 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄骨 造 1 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	597.53 m ²	281.88 m ²	391.29 m ²
延床面積	1,703.44 m ²	281.88 m ²	1,089.61 m ²
主要な用途 (室名等)	測量製図実習室 生徒作業実習室 畜産実習室	鶏舎	クラスルーム 物理・生物教室 化学教室
主要な設備 (屋外を含む)	給排水設備 消火設備	-	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性	※2 圧縮強度 ※3 中性化 ※耐震診断済のみ	適	適
長期使用の 適否	※4 建物傾斜 ※5 地盤沈下	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根	屋根	屋根

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	乾燥調製室棟(173棟)90		
築年(西暦)	1985 年		
構 造	鉄骨 造 1 階		
建築面積	360.00 m ²		
延床面積	402.00 m ²		
主要な用途 (室名等)	乾燥調整室		
主要な設備 (屋外を含む)	-		
利用状況	高		
耐震性 ※1	有		
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	
	地盤沈下 ※5	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし		

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
特別教室家経保育実習室棟(175-2棟)91-1,2	予防保全を図る。
生徒研修施設棟(187棟)98	予防保全を図る。
特別教室 園芸実習室棟(189棟)100	予防保全を図る。
体育館(190棟)101	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
農業機械実習室棟(193棟)103	予防保全を図る。
記念館棟(195棟)105	設備等の定期更新を行う。
農業実習棟(196棟)106	予防保全を図る。
造園実習室棟(200棟)109	予防保全を図る。
計画造園実習室棟(201棟)110	予防保全を図る。
本館棟(202棟)111-1	予防保全を図る。
実習室棟(204棟)111-2	予防保全を図る。
教室棟(52棟)25-1	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)
教室棟(52-3棟)25-2,3	予防保全を図る。
農業機械実習室, 農業実習室棟(56棟)24-3	予防保全を図る。
機械実習室棟(116棟)62-1	予防保全を図る。
被服科実習室棟(121棟)65-1,2	長寿命化改修を行う。
管理棟(123-2棟)70-1,2	長寿命化改修を行う。
格技場(130棟)76	・設備等の定期更新を行う。 ・長寿命化改修を行う。
農業科実習室棟(137-2棟)87-1,2	設備等の定期更新を行う。
鶏舎(161棟)61	予防保全を図る。
特別教室棟(172棟)89	予防保全を図る。
乾燥調製室棟(173棟)90	予防保全を図る。

(概 要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
中性化対策・屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
(121棟)2024年度以降設計・施工
(123-2棟)2023年度以降設計・施工
(130棟)2026年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	
特別教室家経 保育実習室棟 (175-2棟)91- 1,2	予防保全		予防保全を図る。									
生徒研修施設 棟(187棟)98	予防保全		予防保全を図る。									
特別教室 園芸 実習室棟(189 棟)100	予防保全		予防保全を図る。									
体育館(190棟) 101	設備等の 定期更新				トイレ 洋式化				照明 設備 LED化			
農業機械実習 室棟(193棟) 103	予防保全		予防保全を図る。									
記念館棟(195 棟)105	設備等の 定期更新				屋根 改修						受電 設備	
農業実習棟 (196棟)106	予防保全		予防保全を図る。									
造園実習室棟 (200棟)109	予防保全		予防保全を図る。									
計画造園実習 室棟(201棟) 110	予防保全		予防保全を図る。									
本館棟(202棟) 111-1	予防保全		予防保全を図る。									
実習室棟(204 棟)111-2	予防保全		予防保全を図る。									
教室棟(52棟) 25-1	予防保全		予防保全を図る。									

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
教室棟(52-3棟)25-2,3	予防保全		予防保全を図る。								
農業機械実習室, 農業実習室棟(56棟)24-3	予防保全		予防保全を図る。								
機械実習室棟(116棟)62-1	予防保全		予防保全を図る。								
被服科実習室棟(121棟)65-1,2	長寿命化改修								設計・施工 3		
管理棟(123-2棟)70-1,2	長寿命化改修							設計・施工 2			
格技場(130棟)76	設備等の定期更新								照明 設備 LED化		
	長寿命化改修									設計	
農業科実習室棟(137-2棟)87-1,2	設備等の定期更新		屋内 消火栓								
鶏舎(161棟)61	予防保全		予防保全を図る。								
特別教室棟(172棟)89	予防保全		予防保全を図る。								
乾燥調製室棟(173棟)90	予防保全		予防保全を図る。								

4. 概算費用

総額 6億円(長寿命化改修等)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R2.3	体育館(190棟)及び記念館棟(195棟)において、設備等の定期更新を追加
R6.3	・体育館(190棟)及び格技場(130棟)において、設備等の定期更新を追加 ・被服科実習室棟(121棟)において、長寿命化改修のスケジュールを変更
R7.3	記念館棟(195棟)において、設備等の定期更新を追加